

## (仮称) 産技短水沢キャンパス開設 30 周年記念事業の実施について

## 1 目的

産業技術短期大学校水沢キャンパスは、平成2年度に前身の岩手県立高度技術専門学院として開設し、その後、産業技術短期大学校に再編整備されて現在に至り、キャンパス開設30周年を迎える。

この節目を踏まえ、県南地域の人材育成拠点として充実強化を図り、関係機関や団体等と連携しながら更なる活動を展開し、本県ものづくり産業の発展に貢献することを目的とする。

## 2 事業期間

令和2年度（令和2年4月から令和3年3月まで）の1年間

## 3 実施主体

産技短水沢校、産技短、産奥会同窓会、水沢校後援会による実行委員会を設置

※教育研究振興会、奥州市、県南広域振興局、奥州商工会議所、北上川流域ものづくりNWなどの団体や産業界などにも支援や協力を呼びかける。

## 4 記念事業

## (1) 基本的な考え方

ア 水沢校を発信する貴重な機会であり、同窓生を含め県内に周知する観点から広報については、多様な媒体や協力主体を通じてアンバーサリーイヤーを強調しPRする。

「産技短水沢キャンパス開設30周年」のロゴを産業デザイン科が作成。

イ 原則、既存事業の枠内でできるだけ工夫により各部会等で事業企画していくものとする。

ウ 新規事業企画については、必要に応じ県等の当初予算要求に盛り込むものとする。

## (2) 事業事例

## ア 広報・PR（主管 広報部会）

## ① イベントの印刷物等への「冠」ロゴ表記

- ・OC、学園祭、産技短展などのイベントチラシやポスターへの「冠」ロゴ表記。
- ・総合案内や学生募集要項などの印刷物、マスコミへの報道資料、技能競技会参加選手ユニホームなどへの「冠」ロゴ表記。
- ・OCグッズ、表彰記念品、卒業記念品などへの「冠」ロゴ表記。
- ・産技短水沢校HP作成や「冠」ロゴ表記。など

注 OCはオープンキャンパス

## ② 県広報誌等への記事掲載

- ・県広報誌「いわてグラフ」や県政番組などでの特集企画提案などによる記事掲載。
- ・奥州市広報誌や業界新聞・広報紙への記事掲載。
- ・水沢校後援会ニュースや産奥会HPでの広報。

## イ 既存事業での取組（担当 関係部会等） ※今後、各部会等で検討

	項目等	担当
1	労働安全週間の標語募集に併せ、学生から30周年記念の標語やスローガン等の募集・表彰。	安全衛生指導部会
2	OCの体験教室での30周年記念に因んだ作品等制作	学生募集・入学試験部会
3	学園祭で実施するイベントの企画(例:先着〇名に30周年記念グッズプレゼント、30周年記念装飾、企業展示交流会、ものづくり教室の拡大、etc)	学生指導部会
4	学生卒業研究での30周年記念作品の製作(例:記念銘板など)	各科
5	卒業研究等の研究成果に対して、30周年記念特別表彰の実施	各科+教務学生担当
6		
7		
8		

## ウ 新規事業企画

## ① 水沢校

## ア 記念フォーラムの開催（県南局等との共催）

同窓生や在校生、企業等を対象として、「令和新時代のものづくり」（仮）をテーマにフォーラムを開催する。

- ・内容：令和新時代のものづくりや技術・技能、人材などを踏まえ、県内産業界にもものづくり人材を輩出する産技短の意義や役割、期待なども講演していただく。

記念講演：2題。著名な方による講演や県内企業社長などの講演  
卒業生（3科）による鼎談など

- ・会場：プラザイン水沢
- ・日程：未定

## ② 「産奥会」同窓会

## ア 記念支援事業

案1：学生奨学基金の創設

技能育成資金等の在学中の教育資金借入金利息の助成

基金額：2160千円（10年間で30人以上を支援）

@72,000円（2年間）×3人×10年間=2,160,000円

負担内訳 産奥会：2,000千円 職員等寄付：160千円

案2：大型表示看板の設置

本館棟壁面への校名表示看板 約170万円 ※イメージは矢巾校看板

## イ 同窓生等交流会の開催

記念フォーラム終了後において同窓生間の交流を促進する懇親パーティを開催。

- ・会場：プラザイン水沢（会費制）

## 5 スケジュール

- (1) 「冠」ロゴ作成及び各種媒体物へのロゴ印刷等日程
- (2) 各種広報誌への掲載提案及び掲載日程
- (3) 既存事業関係は各部会等で日程調整
- (4) 記念フォーラム講師選定及び会場予約等日程
- (5) 同窓会事業計画日程
- (6) 実行委員会日程

## 6 事務局

新たに30周年記念事業部会を水沢校に組織し、記念事業の立案及び具体化や各部会や外部との調整、全体管理などを担う。

メンバー 事務局長、教育部長、総務、教務学生

## 【参考】

水沢キャンパス開設周年記念事業	20周年	平成22年度
	10周年	平成12年度
	開校	平成2年度

産業技術短期大学校開校周年記念事業	20周年	平成29年度
	10周年	平成19年度
	開学	平成9年度